



認定特定非営利活動法人 2015.8.17 Vol.104

日本災害救援ボランティアネットワーク
Newsletter

響想の社会をめざして

か

ざ

し

て

募

金

にご協力
ください

平素より日本災害救援ボランティアネットワークの活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。おかげさまで、阪神・淡路大震災より20年にわたり活動を続けることができました。しかし、現在、当団体は経済的に非常に厳しい状況にあります。

今回はそうした現状をご理解いただき、本年7月より当団体に寄付していただくことが可能となった「かざして募金」を紹介させていただきます（「かざして募金」の説明チラシも同封させていただきます）。

いただいたご寄付は、災害時の救援活動、復興支援、そして日ごろの防災活動、まちづくり活動等に役立ててまいります。この機会にぜひご協力くださいますようお願いいたします。

「かざして募金」とは

ソフトバンクが提供する、スマートフォンを使って募金ができる仕組みです。スマートフォン用アプリをご利用いただくと、日本災害救援ボランティアネットワークの団体ロゴやニュースレターロゴにスマートフォンをかざすことで簡単にご寄付いただけます。ソフトバンク以外のスマートフォンをお使いの方、あるいは、スマートフォンをお使いでない方もご寄付いただけますが、方法が少し異なりますのでご注意ください。

ソフトバンクのスマートフォンをご利用の方は、携帯電話料金と一緒にご寄付いただけます。

ソフトバンク以外のスマートフォンをご利用の方はクレジットカード決済でご寄付いただけます。

スマートフォンをお持ちでない方はWEBサイトからご寄付いただけます。

寄付の方法

スマートフォンから

1. アプリをインストールします（詳細は同封の「かざして募金」の説明チラシをご覧ください）。
2. スマートフォンをこのページの左上にある「響（ひびき）」のロゴマークにかざしてください。あるいは、以下の日本災害救援ボランティアネットワークのいずれかのロゴマークにかざしてください（左はパンフレットの団体ロゴ、右はニュースレターのロゴです）。



- c o n t e n t s -

- P 1 ~ 2 . . . かざして募金
P 2 V I S I O N 1 1 7
P 3 災害ボランティアリーダー養成講座 / 炊き出し訓練 / K S N 交流会
P 4 ~ 5 . . . N V N A D 通常総会報告
P 6 N V N A D 活動計算書 / J ネット総会 / 特別講演会
P 7 佐用町訪問 / 丹波市訪問
P 8 ネパール大地震救援報告会 / 刈羽村訪問 / 子ども防災クラブ
P 9 津門地区防災マップ作成会 / 浜脇地区防災マップ作成会 / N うごき
P 1 0 会員・寄付者・募金者のみなさま / N ごよみ / 編集後記

3. 100円、500円、1,000円、3,000円、5,000円、10,000円から寄付金額をお選びください。
ソフトバンクのスマートフォンをお使いの方は「毎月継続寄付」を選んでいただくこともできます。

WEBサイトから

検索サイトにて「日本災害救援ボランティアネットワーク かざして募金」と検索してください。
「かざして募金」サイトの寄付先一覧にある当団体の項目より、ソフトバンクを利用している方は携帯電話料金と一緒に、それ以外の方はクレジットカード決済にてお支払いいただけます。

領収書発行について

当団体への寄付金には、認定NPO法人への寄付として所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。以下の方法で領収書をお申し込みください。

ソフトバンクのスマートフォンからご寄付いただく場合は、ご寄付いただく際の画面にある「団体からの領収書を希望する」を選択してください。

ソフトバンク以外のスマートフォンをお使いの場合、あるいは、WEBからご寄付いただく場合は、お手数ですがご寄付いただいた後、直接当団体に領収書発行希望の旨をご連絡ください。

(TEL 0798-34-9011)

ご寄付いただいてから領収書発行までに2か月程度のお時間をいただきます。確定申告時に領収書が必要な方は前年の11月末までにご寄付、ご連絡いただきますようお願いいたします。

今回はこのような願いをさせていただきました。非営利団体、ボランティア団体といえども活動を維持していくために様々な費用が必要なことは一般企業と変わりません。私どもも活動を継続していくために自主財源の確保にさらに努力してまいります。皆様にも今後とも変わらずご支援、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

(常務理事 寺本 弘伸)

VISION 117

阪神・淡路大震災から21年目の夏です。現在、NVNADでは、活動の原点に立ち戻り、これまでの活動の拡充と、新しい活動の展開を進めています。まず、西宮ボランティアネットワークの時代から、西宮市内で続けさせて頂いているカレンダー市を、初期からずっと関わってくださっているボランティアさん達と一緒に振り返りました。この活動は、単に多くのカレンダーを販売し、活動資金にするというものではありません。全国からカレンダーに込めて届けていただいた想い、カレンダー購入という形で届けてくださる想い、そうしたカレンダー一つ一つに込めていただいた被災地・被災者への想いを全国の被災地に届ける活動です。会合では、この原点を改めて確認しました。また、KOB Eでは、先日のネパール大地震に際し、(特)CODE 海外災害援助市民センターさん(神戸市)と初動から連携させていただき試みを初めて行いました。秋には、現地を訪問する予定も立てています。さらに、東日本大震災

の被災地岩手県野田村では、現地の災害ボランティアネットワーク組織であるチーム北リアスのメンバーとして、また、現地に開設されている大阪大学野田村サテライトとも協働して、様々な活動を展開しています。中でも、コミュニティFMのような地元密着メディアを立ち上げようと地元有志を中心に結成された「のだむラジヲ開局準備会」の支援も本格化しつつあります。そして、先日は、NVNAD - 新潟県刈羽村(2007年中越沖地震) - 野田村と続いた被災地のリレーがきっかけになった交流行事「こなもん大会」(於 刈羽村)にも参加し、皆さんと交流を深めて参りました。もちろん、県内の水害被災地佐用町や丹波市での息の長い活動も継続していますし、地元西宮市での防災対応についても、西宮市、西宮市社会福祉協議会の皆様にお世話になりながら進めています。どの活動でも、被災者に寄り添うという原点を忘れずに、想いを届けることの大切さを、21年目に改めて噛みしめているところです。今後とも、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(理事長 渥美 公秀)

災害ボランティアリーダー養成講座

6月6日(土)と13日(土)の2日間、西宮市職員会館にて、「災害ボランティアリーダー養成講座」を開催しました。この講座は、災害時や防災の取り組みとして、地域において活躍できる人材を育成することを目的に、「災害救援」「防災教育」「子ども支援」「行政・企業の災害対応」「NPO・コミュニティ活動」などのテーマで開催しました。



1日目(6/6)は、開講式・NVNADの団体概要の説明のあと、午前中は「災害ボランティアについて(大阪大学・渥美公秀教授)」午後からは「災害食について(甲南女子大学・奥田和子名誉教授)」と「企業における災害や防災の取り組みについて(ソフトバンクモバイル株式会社・真島光氏)」という内容で行いました。

2日目(6/13)は、午前中は「行政における災害や防災の取り組みについて(堺市危機管理室・大前琢郎氏)」と「防災ゲームクロスロード実習(京都大学防災研究所・矢守克也教授)」の講義を、午後は「子どもの支援活動について(にしのみや遊び場つくる会・米山清美代表)」と「NPOとコミュニティ活動(NVNAD・檜垣龍樹副理事長)」の講義を行いました。全講義終了ののち、修了証の授与式を行い、2日間の講座は終了となりました。受講生は、社会福祉協議会の職員をはじめ、一般社会人のほか、高校生にも受講していただきました。

この講座でお知り合いになった皆さんと災害時だけでなく、日頃からの行事等と一緒にしていければと思っています。講師の皆様、受講生の皆様、ご協力に感謝申し上げます。(事務局)

炊き出し訓練

7月12日(日)、三田市にある関西学院千刈キャンプにて、炊き出し訓練を実施しました。

参加者は、災害ボランティアリーダー養成講座の受講生をはじめ、NVNADの関係者などが集まりました。2チームに分かれて、マキで火を起こし、ご飯を炊いて、カレーづくりに挑戦しました。出来上がったカレーをキャンプ場のスタッフと学生リーダーに食べていただき、どちらがうまく出来上がっているか、審査をしていただきましたが、意見が分かれたので、最後はNVNAD理事の奥田が判定を下し、勝ったチームは歓声を上げていました。災害時には、電気やガスが使えないかもしれません。そういった状況下でもご飯が炊ける方法を学んでおくことは、とても意義があるのではないかと思います。これからも色々なことにチャレンジしていければと思います。(事務局)



KSN 交流会

7月28日(火)、KSN(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNAD)主催で、交流会を三田市にある関西学院千刈キャンプ場にて開催しました。キャンプ場の学生リーダーからオリエンテーションを受けた後、ザリガニ釣りを行いました。子どもたちだけでなく、保護者の方々も熱心にザリガニを釣り上げては喜んでおられました。その後、全員でバーベキュー大会を開催し、参加者同士で交流を深めました。昼食後は、子どもたちは七宝焼に挑戦し、保護者の皆さんはお茶を飲みながらおしゃべりタイム。関西学院大学の関ゼミ生もたくさん参加してくださり、とても楽しい時間を過ごしていただけたと思います。(事務局)



第17回N V N A D 通常総会報告

第17回N V N A D通常総会は、2015年6月20日(土)西宮市において開催、提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

・第16期(2014年度)事業報告(2014.4.1~2015.3.31)

第16期(2014年度)を振り返ってみると、災害救援においては、8月に発生した兵庫県丹波市での土砂災害に対して、まず先遣隊を派遣し、その後、西宮市社会福祉協議会と共同でボランティアワゴンを2回運行し救援活動に従事した。それ以降も、甚大な被害の出た前山(さきやま)地区を中心に、泥のかき出し作業や交流サロンなどの支援活動を展開した。東日本大震災支援関連では、岩手県野田村には継続してボランティアバスを運行し、茶話会やハンドアロマ、プレーパークや仮設訪問などの活動を実施した。また、野田村から西宮に子どもたちを招待し、西宮の子どもたちと交流を図ると共に、阪神・淡路大震災の追悼行事などに参加していただいた。

そして、福島県郡山市で主に仮設住宅で支援活動を行っているNPO法人ハートネットふくしまの支援活動のサポートや、地元西宮では、県外避難者を対象にした交流イベントをKSN(関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、N V N A Dが主体)主催で交流イベント4回、学習支援イベント4回、合計8回開催した。東日本大震災以外では、チャコネット(佐用町学生支援ネットワーク)と一緒に兵庫県佐用町の継続支援活動を行った。

平常時の活動においては、活動の3本柱である、「防災まちづくり活動」としては、子ども防災クラブや親子でわがまち探検隊、あるいは、西宮市の受託事業として浜甲子園地区で地域防災マップづくり事業などを行った。「講演・講座活動」としては、柏原市社会福祉協議会や伊勢市社会福祉協議会など継続した講座の依頼がある一方で、日本新薬株式会社や伊丹市立中央公民館などの新規の講座依頼もあった。「ネットワーク活動」としては、第19回チャリティカレンダー市を開催すると共に、ひょうご市民活動協議会(愛称:ひょうごん)の運営委員に就任し、兵庫県下のNPOとのつながりを広げさせていただいた。

その他、昨年度に続き、南海トラフ大地震の津波災害を想定した防災ふれあいウォークを武庫川女子大学にご協力いただき実施した。

(活動事業実績)

1. 災害に関する講演、講座事業26回
2. 防災まちづくり事業(ワークショップ事業)26回
3. ネットワーク事業8回
4. 災害救援活動事業54回
5. その他の活動13回

・第16期(2014年度)決算並びに第17期予算別表

・第17期(2015年度)事業計画

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、兵庫県佐用町、および、兵庫県丹波市での支援活動を継続していきたいと考えている。岩手県野田村については、チーム北リアス(青森県八戸、青森県弘前、など)のネットワーク団体と情報交換しながら、また、関西学院大学や大阪大学とも連携し、これまでのボランティアバス運行にとらわれず、変化する被災地のニーズに寄り添った形での支援の継続を考えていきたいと思っている。また、福島県郡山市については、引き続きNPO法人ハートネットふくしまの活動を間接的に支援したいと思っている。地元西宮の県外避難者の支援については、KSN(関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、N V N A Dが主体)主催での交流イベントや学習・遊び支援などを行いたい。但し、新たに大規模な災害が発生した場合は、活動可能な範囲で対応していきたい。

平常時の活動については、防災まちづくり活動、講座・講演活動、ネットワーク活動に加えて、次世代のリーダーの育成という観点から、災害ボランティアリーダー養成講座などを積極的に開催していきたい。また、今後の災害に備えて、地元西宮では、防災ふれあいウォークをはじめ、災害や防災をテーマにしたユニークな取り組みなどを企画し実施したいと考えている。また、昨年度に認定NPO法人が取得できたことを踏まえ、財源の確保という意味からも、積極的に寄付を集めるための取り組みも実施し、人材も含め安定した組織体制を改めて構築していきたいと思っている。

・災害救援の活動

1. 救援活動

・東日本大震災の支援活動

活動内容： 被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、宮城県南三陸町など）
西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）

・兵庫県佐用町水害の支援活動、兵庫県丹波市土砂災害の支援活動

・次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

- ・子ども防災クラブ
- ・子ども森林体験ツアーなど

2. 防災意識高揚のための取り組み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（Jネット）総会
- (2) 全米災害救援ボランティア機構（NVOAD）
- (3) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画

- (1) 災害ボランティアリーダー養成講座
- (2) 企業向け災害ボランティアリーダー養成講座
- (3) ペットと一緒に避難訓練
- (4) 防災マップを使用した避難訓練
- (5) 八百屋さんプロジェクト（被災地からお米や野菜などを西宮で販売）
- (6) 寄付募集について（かざして募金、キャンペーンなど）

5. 今年度末の災害救援準備金残高500千円

(内規)

- (1) 国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。

(報告) 2014年8月17日兵庫県丹波市土砂災害・災害緊急出動費用4,000円
引当貯金取崩しました。

・役員の変更

- (1) 監事の鈴木勇は、2015年3月31日付で辞任の為、1名選任

監事 (新任) 萩野茂樹三重県ボランティア連絡協議会副会長
尚、新任監事の任期は、2016年6月23日までとする。



(別表)

活動計算書(第16期決算及び第17期予算)

「一般会計・特別会計(災害救援)」

(単位:円)

科目	第16期予算	第16期決算	第17期予算
・経常収益			
1.受取会費収益	1,145,000	934,000	1,055,000
2.受取寄付金収益	2,000,000	2,804,109	1,500,000
3.受取助成金収益	2,250,000	1,450,000	1,500,000
4.事業収益	9,091,000	8,385,780	7,980,000
5.その他収益	12,000	8,918	12,000
経常収益計	14,498,000	13,582,807	12,047,000
・経常費用			
1.事業費	23,287,385	19,949,122	18,502,575
2.管理費	1,348,542	1,074,513	1,120,745
経常費用計	24,635,927	21,023,635	19,623,320
税引前当期正味財産増減額	-10,137,927	-7,440,828	-7,576,320
法人税、住民税及び事業税	82,000	164,000	82,000
当期正味財産増減額	-10,219,927	-7,604,828	-7,658,320
前期繰越正味財産額	59,015,124	59,015,124	51,410,296
次期繰越正味財産合計	48,795,197	51,410,296	43,751,976

「Jネット総会開催



6月20日(土)西宮市民会館に於いて、Jネット(全国災害救援ネットワーク)の総会を開催しました。長崎や新潟、福島や名古屋などから、天理教ひのきしん隊や真如苑SeRVなど7団体15名が集まりました。まず、各団体の近況報告、会計報告などを行ってから、今後の組織体制や活動について意見交換を行いました。ネットワークの必要性については全体の確認がとれ、事務局から提案させていただいた大学生や若者なども関われるようなネットワークづくりについては、来年度以降の検討課題となりました。決定事項は、会員の継続確認、役員の確認、連絡網の整理、来年度の総会開催場所の調整、などをこれから行っていくことになりました。会員数は設立当初に比べだんだん少なくなっていますが、これからも意味のあるネットワークになるよう、事務局としても頑張ってサポートしていければと思っています。皆様、遠路はるばる西宮までお越し下さりありがとうございました。(事務局)

～特別講演会～



6月20日(土)西宮市民会館に於いて、阪神NPO連絡協議会と共催で特別講演会を開催しました。

講師にはNPO法人ハートネットふくしまの吉田公男理事長にお越しいただき、阪神・淡路大震災当時西宮での活動の様子やNVNADとの出会いについて、また福島県の現状や課題について、お話をお聴きしました。ハートネットふくしまの事務所がある福島県郡山市では、吉田さんたちのNPOが今なお仮設住宅で炊き出しやお茶会などを定期的で開催されています。「食べるための炊き出しではなく、お楽しみの炊き出し」をやっているという言葉はとても印象的でした。参加するみんなに楽しいと思ってもらい、それが自立につながっていけばと願う吉田さんの熱い想いに感銘を受けました。これからも微力ながら応援していければと思います。(事務局)

佐用町訪問

5月16日(土)～17日(日)の日程で、チャコネット(関西学院ヒューマンサービスセンター所属(略:HSC))のメンバーと兵庫県佐用町を訪問しました。今回はHSC新入生や関ゼミ3年生の体験参加メンバーと一緒に活動を行いました。16日(土)は、佐用町久崎で、チャコ畑で育った玉ねぎを収穫。久崎のまちのマップを作成。カフェの小物づくりの3グループに分かれて活動しました。17時頃



にそれぞれの活動を終え、笹ヶ丘荘で、収穫した玉ねぎを使ってハンバーグづくりに挑戦し、地元の方々をお招きして、交流も兼ねて夕食会を開きました。

いろいろ災害について、有意義な交流ができました。

17日(日)の午前中は、先月焼いていた竹炭を窯から取り出したり、以前切った竹を軽トラックに載せて移動させたり、チャコ畑に地元特産のもち大豆の種を植えたり、カフェのピラを3班に分かれて住宅に配布しました。

午後は、恒例のコミュニティカフェに、今回もたくさんの地元の方々がお越し下さいました。はじめて参加した学生メンバーがたくさんいましたが、住民の皆さんと和やかないい雰囲気での交流ができました。カフェ終了後は、1日のふりかえりを3つのグループに分かれて話し合い、最後に各グループから代表が発表を行い、終了しました。今回も地元の皆さんに色々とお世話になりました。次回以降もどうぞよろしくお願いいたします。(事務局)



丹波市訪問

5月22日(金)兵庫県丹波市水害の被災地を訪問しました。今回の主な目的は、6月14日(日)に市島町で開催される「しょうぶ祭り」での防災コーナー出展についての打ち合わせと、9月以降に行われる予定の防災教育プログラムについて、前山小学校の校長先生と意見交換をすることです。

また、前山保育所跡地では、定例のカフェ(オアシスいつせ)が開催されていて、参加し交流を行いました。

この日は、スタッフのみなさんで、丹波市の高齢家庭全戸に配られる枕カバーをミシンで手作りされていました。

毎年2回、このように色々な物を手作りされて配布していると聞き、とても素敵な活動だと思いました。前山地区のみなさん、いつも快く迎え入れていただきありがとうございます。

(事務局)



- ネパール大地震救援報告会 -

5月29日(金)14時~16時、西宮市民会館に於いて、CODE 海外災害援助市民センターさんと共催で「ネパール大地震・活動報告会」を開催させていただきました。CODE では、事務局長の吉椿雅道氏とスタッフの上野智彦氏の2名が、復興支援活動に向けた調査のため、5月3日から14日までネパールに入られ、その時の被災地の状況について、映像を映しながらご説明いただきました。日本国内では、ネパールは「壊滅的」という報道がされているが、吉椿氏いわく「被害がひどい地域はもちろんあるが、壊滅的ではない」という言葉



が印象的で、また、山間部の被害集落に入るには、歩いて訪問しようとするれば片道2~3日もかかる場所もあるとのことでした。雨季に際し、一刻も早く住環境の改善が求められます。ネパール地震の支援につきましては、下記のホームページをご覧ください。吉椿様、上野様、ご報告ありがとうございました。(事務局)

CODE 海外災害援助市民センター (<http://code-jp.org/blog/nepal-earthquake>)

新潟県刈羽村訪問

2007年7月16日に発生した中越沖地震から丸8年が経ちました。当時、支援活動を行った新潟県刈羽村を7月24日~25日に訪問しました。今回の目的は、刈羽村社会福祉協議会主催の「福ふくフェスティバル」において行われた被災地交流イベントへの参加でした。阪神・淡路大震災の被災地KOBEから中越、中越沖地震の被災地新潟へ、そして東日本大震災の際に東北へと繋がった“被災地のリレー”ですが、今回訪問させていただいた刈羽の方々とは8年、一緒に参加した岩手県野田村の方々のお付き合いも4年以上になります。震災を通じた出会いではありましたが、このような繋がり、顔の見える関係が、災害からの復興、そして今後の災害への備えとしてとても大切であると考えます。そのことを再認識することができた今回の訪問でした。



(事務局)

子ども防災クラブ

(第1回目) 事前説明会

7月11日(土)、高木小学校にて、「子ども防災クラブ」第1回目の事前説明会を開催しました。新3年生が新たに5名加わり、また、大学生リーダーも17名が登録してくれました。この日は、子どもやスタッフとリーダーの紹介、子ども防災クラブの活動紹介、キャンプの説明、事務連絡、交流会、などを行いました。これから1年間、「めざせ!防災マスター」をテーマに活動を行っていききたいと思います。(事務局)



津門地区防災マップ作成会 浜脇地区防災マップ作成会

7月15日(水)大箇市民館に於いて、津門地区の「防災マップ作成会」(災害図上訓練・検討会)が開催されました。

津門地区自主防災会から多数の方が参加されました。

津門地区で最も危惧される「津波災害」を想定災害(テーマ)に、災害図上訓練(D I G)・検討会を実施しました。

参加者がグループに分かれて、地図台を囲み地域の基礎情報を確認し、津波により浸水が危惧される被害想定をもとに、地図にアイコンシールを貼りながら、避難する時の気になる場所や注意点などを話し合いました。

「地域防災マップに記載する情報」をまとめ、その内容の検討会を実施。災害図上訓練や検討会を通じて、防災に真剣に取り組み且つ楽しみながら地域の中で再点検し、防災意識の啓発ができたことと思いません。(事務局)



(災害図上訓練・検討会)

6月30日(火)浜脇公民館講堂に於いて、浜脇地区「防災マップ作成会」(災害図上訓練・検討会)が開催されました。

浜脇小学校区の自主防災会、各種地域団体から多数の方が参加されました。

浜脇地区で最も危惧される「津波災害」を想定災害(テーマ)に、災害図上訓練(D I G)を実施しました。

参加者がグループに分かれて、地図台を囲み地域の基礎情報を確認し、津波により浸水が危惧される被害想定をもとに、地図にアイコンシールを貼りながら、どこに避難したら良いのかなど話し合いました。

各グループで意見を出し合い、「地域防災マップに記載する情報」をまとめ、災害図上訓練・検討会を通じて、防災に役に立つことを楽しみながら地域の中で再点検し、防災意識の啓発につなげるため実施しました。(事務局)

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

5月	22日	丹波市訪問(丹波市)
	29日	ネパール大地震報告会(西宮市)
	30日	NVNAD会計監査(西宮市)
6月	6日	第1日目災害ボランティアリーダー養成講座(西宮市)
	13日	第2日目災害ボランティアリーダー養成講座(西宮市)
	14日	丹波市訪問(丹波市)
	20日	NVNAD通常総会(西宮市)
	20日	Jネット総会(西宮市)
	27日	日本精神科看護協会講演(山口市)
7月	28日	KSNプロジェクト(西宮市)
	30日	浜脇地区防災マップ作成会(西宮市)
	1日	カレンダー市打合わせ会議(西宮市)
	11日	子ども防災クラブ(西宮市)
	12日	炊き出し訓練(三田市)
	13日	尼崎第9連協防災マップ作成会(尼崎市)
	15日	津門地区防災マップ作成会(西宮市)
	24~26日	新潟刈羽村コナモン大会に参加(新潟刈羽村)
	25~26日	佐用町訪問(佐用町)
	28日	KSNプロジェクト「千刈キャンプ」(三田市)
8月	5~6日	西宮子どもキャンプ交流会(佐用町)
	8~9日	丹波市訪問(丹波市)
	17日	ニュースNo.104発行



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

継続会員のみなさま（2015年5月1日～2015年7月31日）

個人正会員：「継続」堀川 ふじ子、寺本 弘伸、鈴木 勇、山口 元

個人賛助会員：「新規」小林 良彦、安達 敬三

個人賛助会員：「継続」廣瀬 輝男、堂野 喜美子、武田 育子

団体正会員：「継続」社会福祉法人光朔会

寄付者のみなさま（2015年5月1日～2015年7月31日）

「一般」：近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、御内 眞理

募金者のみなさま（2015年5月1日～2015年7月31日）

「東日本大震災」松崎 恵子、大江 良一、平谷 真彦、小椋 康成

グッドス ナカヤマ ヨシ、 ヤマウチ キミエ

「丹波市水害」兵庫県立西宮高等学校吹奏楽部、今井 千郎

ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

8月	19日	篠山市講演（篠山市）
	21～22日	丹波市訪問（丹波市）
	21～23日	野田村交流ツアー（野田村）
	26日	KSN交流会（西宮市）
	29～30日	丹波市訪問（丹波市）
9月	4日	前山小学校（丹波市）
	10日	浜脇地区防災マップ検証会（西宮市）
	10～14日	野田村ボランティアバス（岩手県野田村）
	16日	津門地区防災マップ検証会（西宮市）
	20日	前山地区運動会（丹波市）
	26日	災害ボランティアセンターについての講演会（西宮市）
10月	26～27日	佐用町訪問（佐用町）
	3日	津市民防災大学（津市）
	18日	KSN交流会（西宮市）
	24日	第3回子ども防災クラブ（西宮市）
11月	31日	西宮子ども森林体験ツアー（篠山市）
	7日	4団体連携防災訓練（西宮市）
	15日	防災ふれあいウォーク（西宮市）
	17日	ニュースNo.105発行



編集後記

8月17日で丹波市の土砂災害から1年が経過しました。今年の夏も猛暑が続いており、日本各地で局地的な豪雨が観測されています。また、台風の発生も例年以上に多く、秋にかけて油断のできない日々が続くと思いますが、決して他人ごとだと思わず、保存食の準備や避難場所の確認など、各自でできることをやっていければと思います。（H・T）

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子